第13回プラチナ大賞 応募用紙

記入上の注意

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 全体 |

1. 事例集掲載用資料・審査用資料は、公開可能な情報のみを記載してください。
2. 事例集掲載用資料・審査用資料は、図表や写真等を自由に使用して作成して構いません。ただし、第三者の著作権やプライバシー等を侵害することのないよう注意してください。
3. 当会及び当会と提携する第三者が、事例集掲載用資料・審査用資料に記載された情報を当会が運営する別の事業で利用することがあります。
4. ページ設定（文字数、行数、余白など）は変更しないでください。また、図表等を用いる場合、余白にはみ出すことのないようにしてください。
5. フォントや文字の大きさは自由に設定して構いません。ただし、文字の大きさは10.5pt以上としてください。
6. 記載内容について、事務局がヒアリングする場合があります。
7. 過去に応募したことのある取り組みの再応募で、かつ、受賞結果が優秀賞以上の場合は、「応募前と比較した応募後の進捗や成果」が分かるように記載して下さい。
8. 複数の回答箇所に同じ記述をしないようにしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| ２ | 応募者情報 |

1. プラチナ大賞の実施に関する連絡（一次審査の結果や最終審査の案内など）は、記載されたメールアドレスあてに行います。
2. 記載された住所に、プラチナ大賞の事例集などを送付します。
3. 共同応募者は、会員・非会員に分けて、まとめて記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ３ | 事例集掲載用資料（A4・1ページ） ※「取り組み概要（事例集掲載用）」 |

1. 当会では、会員の取り組みを広く発信するため、応募取り組みの内容を事例集としてまとめ、公開しています。事例集は、最終審査発表会・表彰式の会場配布、会員への送付、ホームページでの公開を予定しています。
2. 分量は、A4・1ページです。
3. 記載項目などの制限はありません。
4. 事例集掲載にあたり、事務局にて体裁等を整える場合があります。

|  |  |
| --- | --- |
| ４ | 審査用資料（A4・6ページまで） ※「 取り組み内容（審査用）」 |

1. 分量は、A4・6ページまで（本セクションのみで6ページまで）です。
2. 共通審査基準との対応などの項目に従って記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ５ | 参考資料の添付（2点まで） |

1. チラシなど、取り組み内容が分かる参考資料を2点まで添付することができます。
2. 各点ともに、A4・6ページまでです。
3. 添付された資料は、あくまでも「参考」として扱います。審査のうえで考慮すべき情報は、必ず審査用資料の内部に記載してください。

|  |
| --- |
| ＜個人情報の取扱いについて＞  1.入力いただいた個人情報は、当イベントの運営管理及びイベントに関連する資料や企画等のご案内に利用します。ただし、ご要請があれば、すみやかに中止します。  2.入力いただいた個人情報の利用については1.に示す目的の範囲を超えて、当該個人情報を利用することはありません。  3.入力いただいた個人情報は、不正アクセス、紛失、漏洩、改ざんなどを防止するために、セキュリティ対策を実施します。また利用目的終了後は、当法人が責任を持って廃棄します。  4.個人情報の取扱いに関するご連絡先、苦情・相談窓口  一般社団法人プラチナ構想ネットワーク事務局  電話：03-6858-3546、FAX：03-5204-9563、E-mail：jimuinfo@platinum-network.jp |

第13回プラチナ大賞 応募用紙

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 提出方法 |

* 応募用紙は、プラチナ大賞運営委員会事務局あてにワードファイル（.docx）のまま、メールで提出してください。
* 別紙「記入上の注意」もご参照ください。

|  |
| --- |
| 送　付　先：pt-taishou@platinum-network.jp  メール件名：【会員名】「プラチナ大賞」応募書類送付  提出期限：2025年７月18日（金）午後５時必着 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ２ | | 応募者情報　※記入上の注意２参照 | | | |
| 応募会員名  (法人名／個人名) | |  | | |
| 住　　所  (資料等送付先) | | 〒 | | |
| ご担当者①  （必須） | | ご所属・お名前 | |  |
| 電話番号 | |  |
| メールアドレス | |  |
| ご担当者②  （任意） | | ご所属・お名前 | |  |
| 電話番号 | |  |
| メールアドレス | |  |
|  | | | | |
| 共同応募者（会　員） | | |  | |
| 共同応募者（非会員） | | |  | |

　※個人会員の場合は必ず共同応募者をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ３ | 過去に応募・受賞したことのある取り組みかどうかの確認 |

以下の質問にチェックを入れてご回答ください。

* 過去に応募した取り組みで、その後の進捗や成果を踏まえた再応募ですか？

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | いいえ |  | 該当の場合、この欄に応募年(西暦)を全てご入力下さい。 |
| □ | はい | → |  |

* 過去に優秀賞以上を受賞した取り組みで、その後の進捗や成果を踏まえた再応募ですか？

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | いいえ |  | 該当の場合、この欄に受賞年(西暦)を全てご入力下さい。 |
| □ | はい※ | → |  |

　※こちらに該当する場合、記入上の注意1-7を必ず確認して応募用紙を記載して下さい

|  |  |
| --- | --- |
| ４ | 本イベントの趣旨及び留意事項の確認 |

以下の質問をご確認のうえチェックをお願いします。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 本イベントの趣旨を理解し、募集要項「５留意事項」を確認しました。  （チェックをお願いします。） |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ５ | | 事務局使用欄（事務局が使用します。空欄のまま提出してください） | | |
| 応募確認日 | |  | 受付番号 |
| 応募確認者 | |  |  |
| 備　　　考 | |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 取組名称 |  |
| 応 募 者 |  |
| 問 合 先 |  |

|  |
| --- |
| 取り組み概要（事例集掲載用） |

※以下の記載は、提出時に削除してください。

* 応募者には、応募主体となる会員の名称を記載してください。また、非会員を含む共同応募者もすべて記載してください。
* 問合先には、他団体から問い合わせがあったときの窓口（担当課、電話番号、メールアドレスなど）を記載してください。
* 例年、本ページに取り組み概要の記載がないままのご提出が数件ございます。記入上の注意３を確認いただき、記載漏れのないようご注意ください。
* 事例集への掲載イメージは、第12回の事例集をご参照ください。

<https://platinum-network.jp/wp-content/uploads/2025/01/%E5%BD%93%E6%97%A5%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%83%BB%E4%BA%8B%E4%BE%8B%E9%9B%86%EF%BC%882024%E5%B9%B4%EF%BC%89.pdf>）

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 取り組み名称 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２ | | 取り組み概要 |
| ① 目的（解決を目指す社会課題） | | |

|  |
| --- |
| ② 手段（具体的内容） |

|  |
| --- |
| ③ プラチナ社会への貢献（該当する要素に“✓”を入れてください。複数可） |

□ A.エコロジー（人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存）

□ B.資源の心配がない（エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築）

□ C.老若男女が全員参加（生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会）

□ D.心もモノも豊かで自己実現が目指せる（文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」）

□ E.雇用がある（イノベーションによる新産業の創出）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３ | | 共通審査基準との対応 |
| ① 社会的ニーズへの対応（大きく変化する社会的ニーズ（潜在的ニーズを含む）を的確に捉えているか） | | |

|  |
| --- |
| ② 創造性・革新性（アウトプットや取り組みのプロセスに新しい発想や工夫がみられるか。イノベーションや新産業の創出などの波及効果が期待できるか） |

|  |
| --- |
| ③ 実効性（取り組みは、課題解決策となっているか。社会・地域・産業等に対する効果があったか、あるいは期待できるか） |

|  |
| --- |
| ④ 協働の実現性（実現可能な取り組みの推進体制になっているか。産官民学など複数のステークホルダーが連携し、それぞれが持てる力を十分に発揮できるような体制・仕組みとなっているか） |

|  |
| --- |
| ⑤ 持続可能性（取り組みを継続・発展させるうえで、安易に公的資金に頼ることのない運営を志向し、持続可能な設計・仕組みとなっているか。取り組みを安定的に継続・発展させるための体制・仕組みとなっているか） |

|  |
| --- |
| ⑥ 展開可能性（他の地域・企業・産業等の領域に取り組みの普及・展開があったか、あるいは期待できるか） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４ | | 補足 |
| ① 今後の展開、更なる改善に向けた方向性 | | |

|  |
| --- |
| ② その他、アピールポイント |

|  |
| --- |
| ③ 活用した補助金・助成金など |

|  |
| --- |
| ④（個人会員と共同応募者の協働参画による応募の場合のみ）個人会員と共同応募者の協働内容・関係性について |

以上